

安心安全
ファイナルワークのための
トレーニングブック

はじめに

この本はフィールドワークに出かける前、さまざまな危険・リスクを想像し、もしものときいざというとき対処できるよう、準備するためのものです。

活動イメージ作り、出会う人・物事から予測される危険を想定し、対策をたてることに役立ててください。一人だけでなく多くの人と一緒に考えると発想も広がります。また、より多くの対策方法や情報も得られることでしょう。

安心安全にフィールドワークを進めるためには、現地情報の取得や安心安全リスク対策の知識や技術の習得を事前しておくとともに、もしもの事故のときの迅速かつ有効な対処を実行するには、次の3点に留意してください。

- ①信頼あるコミュニケーション作り（大学院生と教員、現地住民・関係機関）
- ②個人情報（緊急時の連絡先、身体情報、保険など）に基づいた采配
- ③伝達手段確保（現地と保護者、家族、友人、関係者）

以上の点を確実にして、大学院生の研究教育でフィールドワークが有益に行われることを願います。

編集・発行 立教大学大学院超域文化学専攻
(編集責任：野中健一)
制作 たまさや

2011年4月 初版発行

1. フィールドワークに出かける・・・その前に

● 調査を計画したら、以下のことを準備して下さい。

1) 調査計画・日程の決定

調査計画表

2) リスク対策の考案

予測される危険・リスク

事故

病気

犯罪（盗難、強盗、拉致など）

政変（テロ、クーデター、戦争など）

天災（地震、津波、洪水、土砂崩れなど）

危険情報入手

対策考案

緊急時個人情報カードの作成

3) 持ち物の確認

リストシートを作成・チェック

4) 旅行保険への加入

5) 指導教員への研究計画書の提出

研究計画書、リスク対策、緊急時個人情報カード

*行程・滞在先等は家族や保証人にも必ず伝えておくこと。



● 旅行保険に入っておくと ●

病気やけがなどの治療費だけでなく、捜索／救援費用も補償されます。

日本から駆けつけたり、捜索費用は高額です。急な救援には飛行機のチャーター手配もしてもらえます。インドでの山岳事故が発生した時、救援のためにシンガポールからインドまでも飛行機を飛ばす事が可能だという例もあります。

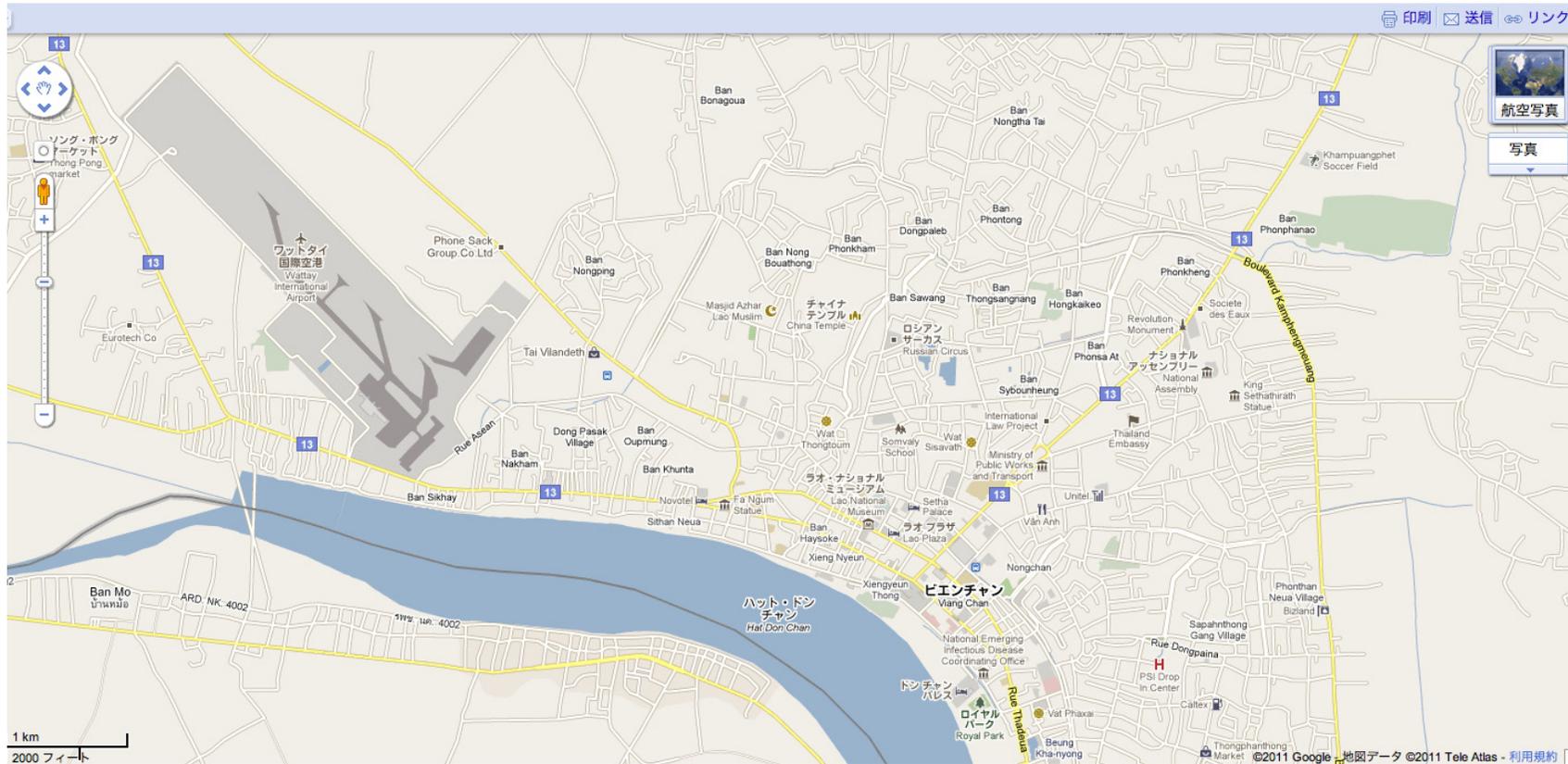
2. フィールドワークのシュミレーション

ラオス、ドンクワイ村での農村生活調査をすることになりました。首都ビエンチャンに到着して市内のホテルに一泊し、翌日からフィールドワークに向かいます。
まずは、現地の様子を探るために、もっとも手軽なグーグルマップを開いてみました。空港から町まで、スケールを大きくしていくと街路もいろいろな施設もみることができます。

● 事前に準備しておくべき事をすべて書き出さない。

● 想定されるリスクを書き出さない。

● リスクの対処法を書き出さない。



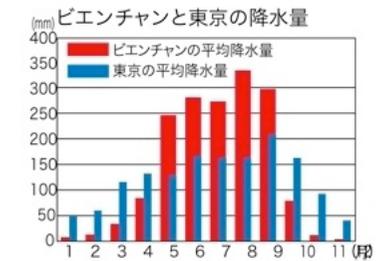
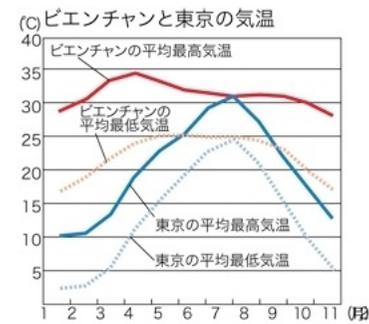
▶ 成田発 (NRT)

出発日	発着時刻
毎日 TG641	11:00→15:30 バンコク着
木・土 TG671	12:00→17:25 ブーケット着 19:00→20:25 バンコク着
月、火、水、金、日 TG643	12:00→16:30 バンコク着
毎日 TG677	16:55→21:25 バンコク着
毎日 TG6003	10:50→15:25 バンコク着
毎日 TG6005	18:10→22:50 バンコク着

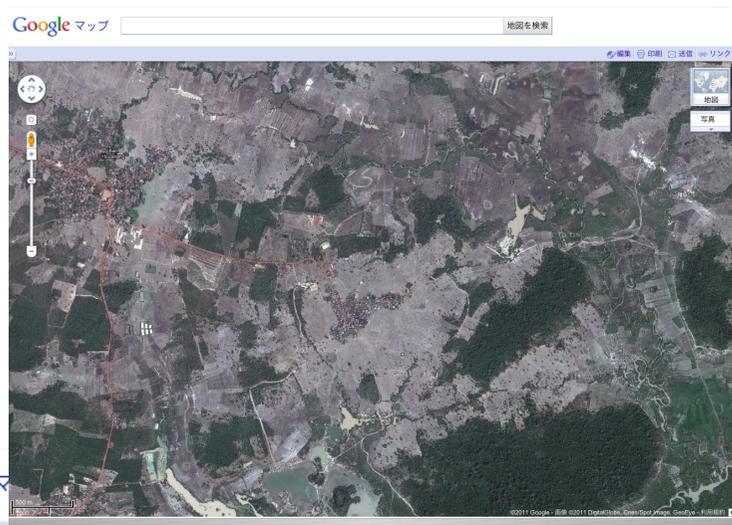
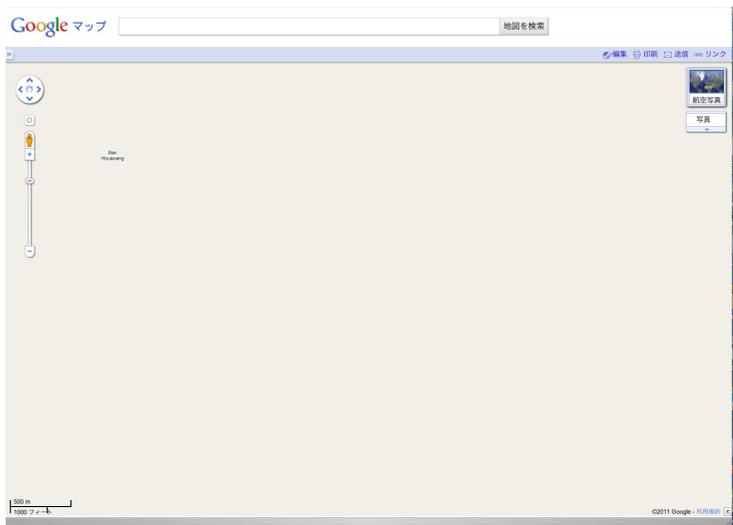
✈️ バンコク発時刻表

毎日	TG570	11:45 → 12:55	バンコク
	TG574	19:50 → 21:00	

タイ航空 H.P. より



地球の歩き方 H.P. より

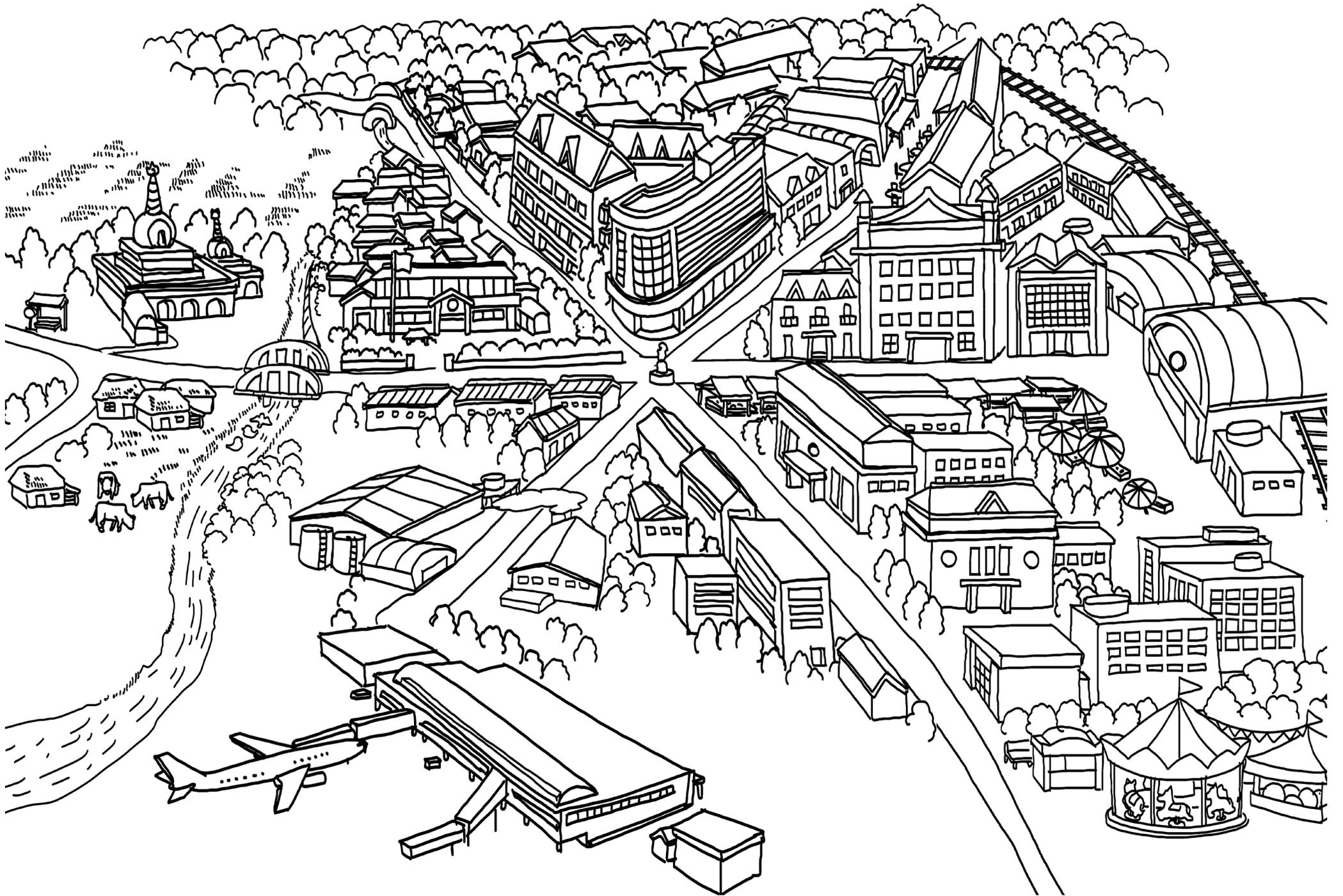


地図を検索



3. 実践～より一般的なリスクを考える～

右の図は都市と中心として人文環境の要素を一枚の図で表しています。この図を見ながら、想定されるリスクと対処法を書き出さない。



● 実際に教員が遭遇したアクシデント ●

マナー

- ・早朝から市場に出かけて商人に話を聞こうとしたら、水をかけられた。「買わない人が来るなんて朝から縁起悪い」(ベトナム)
- ・女性はお寺の本堂に入っちゃいけない(ラオス)
ため池に魚釣りにいって滑り落ちた。急に深くなるので、なかなか上がれず。(愛知)
- ・宿に泊まって、外食から戻ってきたら浸水するからと2階へ待避。(インドネシア)
- ・峠道が土砂崩れで通行不能。止まっている横の崖も崩れる。(インドネシア)
- ・道路冠水で立ち往生していたところ、突っ切ろうとした車が流されていた。(インドネシア)
- ・キッチン付きのホテルで、肉を焼き始めたら煙を感知して火災報知器が鳴り、消防車出動。部屋に入ってきた消防士さんに「いい匂いだ。食べてよし」といわれた。(オーストラリア)

犯罪

- ・タクシーに乗ったとき、急に降ろされ、その際にカバンをパスポート、財布、航空券の入った最重要カバンを置き忘れ、でてこなかった。
- ・バスに財布を落とした。クレジットカードも入っていた。
- ・通りを歩いてきたら、向かいから歩いてきた男が、ぶつかってきて、大丈夫かと体を触ってきたが、明らかに財布をまさぐっていた(南ア)
- ・夜のダウンタウンに車で迷って入ってしまったが、人に道をきくこともできず、赤信号でも止まることもままならないところ。(南ア)
- ・夜歩き ショッピングモールで映画を観ていたらすっかり夜に。にぎやかだった通りは夜になったら人通り無し。(南ア)

病気

- ・入院 糖尿病で倒れた先生を救急車を呼んで病院へ搬送してもらった。点滴をしてよいものやらどうやら悩み、甘尿と書いたら通じたような。(中国)

- ・生煮えの海鮮鍋を食べて下痢した。(インドネシア)
- ・揚げ物を食べて下痢のさなか、2泊3日の長距離バス乗車。(中国)
- ・屋台料理 屋台でタコの活き作りを食べたら、ひどい下痢になり、なかなかとまらず、やがて痔瘻に発展し、手術を受ける羽目にあった。(韓国)

調査許可

- ・村に入ったらすぐに鉄砲をもった警官がやってきた。(インドネシア)
- ・駅を撮影中、無断撮影でないかと警察にとがめられた。(オーストラリア)

チェックポイント

● 所在地の確認

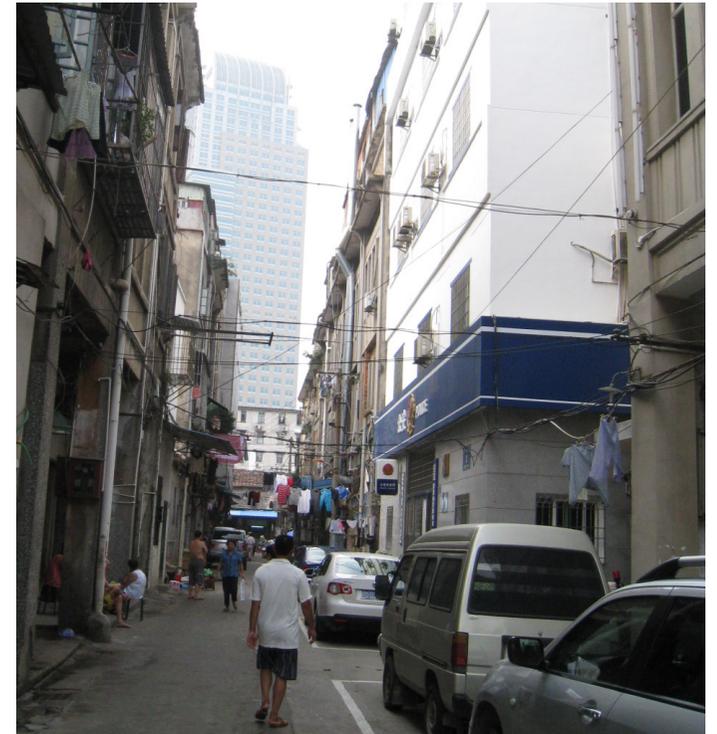
病院
警察
大使館
役場
ネットカフェ

● 携帯電話の入手

世界対応もしくはSIMカード対応可能機種

● こんなことにも注意！

神聖な場所へ立ち入り
習慣への配慮
家畜にむやみに触れることによる病原菌の拡散
軍事関連施設の撮影
私有地・所有物への無断立ち入りや無断撮影



● まずは、挨拶 ●

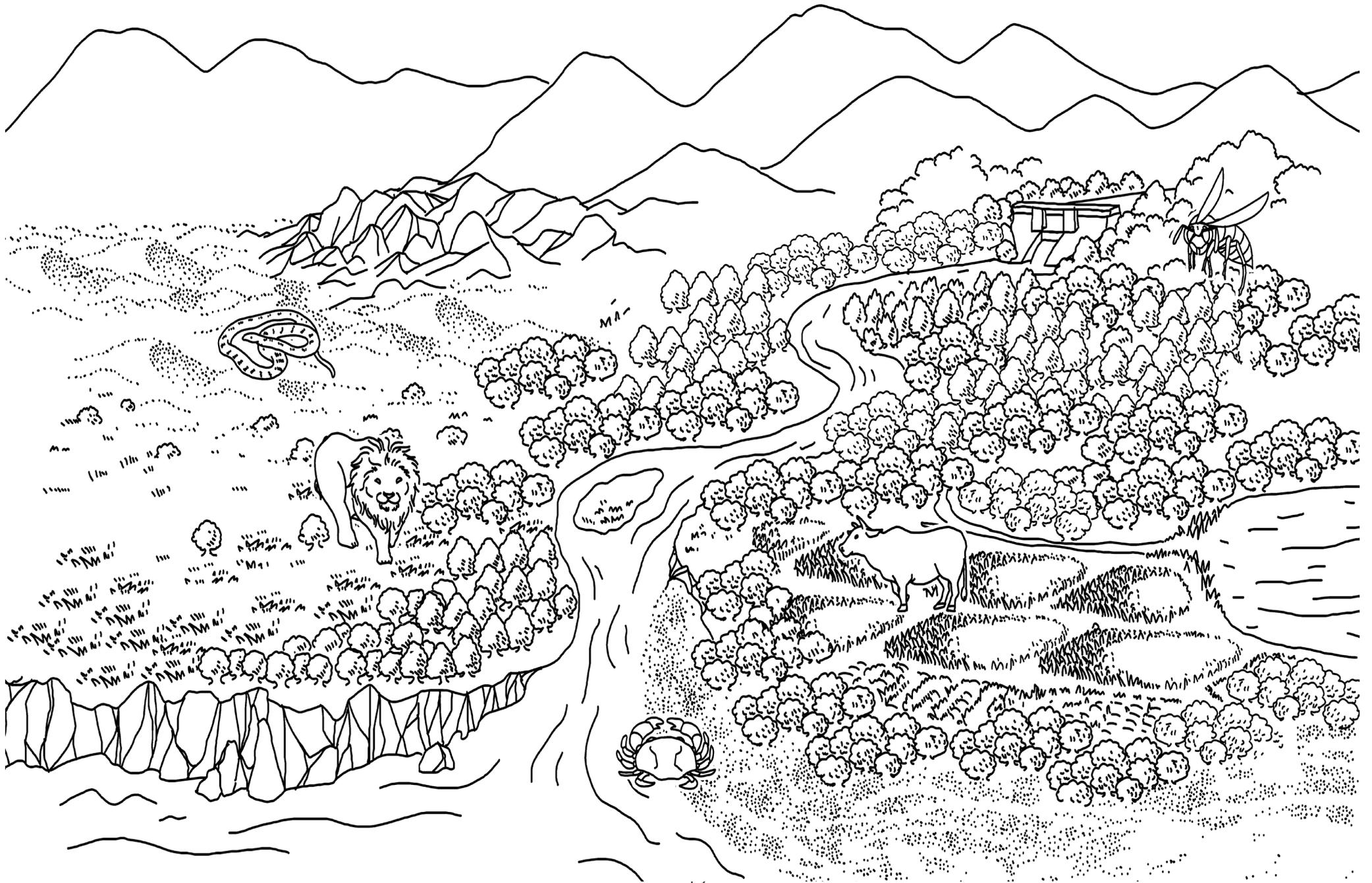
大使館

政変時などに、緊急通知を受けたり、脱出手段確保をしてもらえます。現地の最新の 情報も得られます。滞在情報を伝えておきましょう。

研究調査提携機関

調査許可手続き、現地コーディネート、身分保証などで御世話になります。究ネットワークも広がります。

右の図は自然環境の要素を一枚の図で表しています。この図を見ながら、想定されるリスクと対処法を書き出さない。



● 実際に教員が遭遇したアクシデント ●

動物

- ・セリ出しの手伝いで、牛を捕まえて車に乗せているとき、角で腹を突かれた（沖縄）
- ・テントを建てた場所がヤギの群れの通り道になり、突き破られた。放牧している牛にも踏み壊された。（ボツワナ）
- ・水タンクから水をくみ出すのをいつも物陰からヤギに見られていたが、ある日水タンクをひっくり返された。（ボツワナ）
- ・早朝の砂浜でサンドフライの襲撃に遭い、止まっていられなかった（インドネシア）
- ・草原でゾウをみかけて、遠くからなら大丈夫だと思って車を降りていったら、睨まれて身動きできなくなった（ボツワナ）
- ・コブラを見つけてカメラを向けてファインダー越しに目があつたら攻撃された（ボツワナ）
- ・採集に出かける女性たちの後をついて歩いていたら、女性が毒ヘビを踏みつけて飛び退き、怒ったヘビの真正面に自分がでくわした。
- ・ヒヒのフォーメーション攻撃にあって、荷台がおろそかになったすきに大切な「あられ」を盗られた（ボツワナ）
- ・ツムギアリの巣採りを取材中、気がついたら全身たかられる（ラオス）
- ・子育て中の鳥の縄張りの中に入り込んで、追いかけられた（愛知）

植物

- ・砂漠で採集活動についていったとき、ようやく一休みとなって、疲れて倒れこんだところがトゲだらけだった。（ボツワナ）
- ・山を下るときに、体を支えようと掴まった木がトゲだらけ。（ラオス）

事故

- ・雪解け水が道路に冠水していてスタック。ロードサービスの人 came が、ロープがなく、しばらくして、ロープを持っていた通行車に助けをもらう。（アイスランド）
- ・漠の道を走っていたら路上に掃き集められた砂でハンドルを取られて横転。通り

- がかりのトラックの運転手さんにバールでボディをたたいてあたりをとって動くようにしてもらう。
- ・突然タイヤがバーストしてしまい、補助タイヤに換えようとしたが、車に積んであるはずのジャッキの位置がわからず。
- ・雪道でスリップ。落輪して雪に隠れていた溝に埋まる。（岐阜）
- ・田舟に乗ったらバランス崩して用水路に落ちた（ベトナム）
- ・島に送ってやるという村人が出してきた舟が小型カヌーで、外洋に出たら波をかぶって浸水。（インドネシア）
- ・海水浴をしていて離岸流にのって沖合に流される。波が大きく顔に容赦なく浴びせられると飲んでしまう（日本）
- ・川を歩いていて濡れた石で滑って転倒。めがねを割る。（日本）
- ・焼き畑地帯の踏査中、沢歩き中に左右の靴底が取れて流れていった。（ラオス）
- ・同行者が道を誤ってガレ場に入り込んだ。（長野）

脱水

- ・調査について行って、時間がかかり、飲み水がなくなった。（ボツワナ）
- ・砂漠のまっただ中、調査についていたら雷を伴って夕立到来。青空の方へ走って逃げる。（ボツワナ）

雪

- ・雪原を歩いていて深みにずぼりとはまる。（北海道）
- ・氷上釣りに行って、氷を踏み抜く。（北海道）
- ・道を歩いていたら吹雪に遭遇。通りがかりのトラックに乗せてもらう。（北海道）
- ・高速道路運転中に吹雪に遭遇。相対速度がゼロ近くになり朦朧。（北海道）

チェックポイント

- 動植物および目に見えない細菌・寄生虫
- 土壌・種子などの付着物
- 潮の干満、寒暖差、ダム放流などによる環境変化の把握
- 病気・けが
 - 薬の用意
 - 加入保険内容の確認
 - ファーストエイド法の習得
 - 脱水症状の予防
- ルート
 - 予定した移動経路が使えなくなった時のために代替手段や脱出方法の確認
- サバイバル法の習得
 - 遭難時や緊急事態に遭遇したときの生存手段の確保
 - たき火 ローピング 水確保など



4. フィールドワークにかかわる提出書類

研究活動でフィールドワークに出かける際には、次の書類を作成し指導教員に提出してください。万が一事故等が発生した時に、適切な対策を迅速に講じるために必要です。

提出書類は超域文化学専攻 H.P. よりダウンロードしてください。

フィールドワーク実施同意書

同 意 書	
立教大学大学院超域文化学専攻長	
殿	
私は、大学院での教育研究に関わる野外研究活動（フィールドワーク）を実施するにあたり、下記の事項を了解し、遵守することに同意いたします。	
記	
1. フィールドワークは、個人の自発的選択と責任において行われるべきものであること。	
2. 出発から帰宅までの一切の行動は、学生個人の責任において行なうこと。	
3. 実施期間をカバーする旅行傷害保険（死亡・傷害・疾病・救援・損害賠償責任付）に加入すること。	
4. 実施期間中は、教員の指示にしたがうこと。	
5. 実施期間中、立教大学大学院超域文化学専攻の責任に帰することができない事由、または立教大学大学院が管理し得ない状況のもとで発生した事故等、あるいは立教大学の管理のもとにある場合も、その故意または過失によらずに生じた事故等においては、自己に生じた損害または第三者に与えた損害について自己の責任において損害賠償責任その他の責任を負うこと。	
6. 本同意書に関して、保証人の同意を得ること。	
年 月 日	
専攻 年	
学生番号	
署名 印	
同 意 書	
年 月 日	
本同意書を理解し、同意します。	
保証人署名 印	
保証人連絡先 〒	
TEL	
本同意書で収集する個人情報は、超域文化学専攻におけるフィールドワークに関して、本人に連絡する必要がある場合の問い合わせ先として利用するか、その他、緊急に大学が連絡しなければならない場合のみ利用します。	

調査持ち物リスト

調査持ち物チェックリスト

項目	品物	数	備考	
服装	半そでTシャツ			
	スカート			
	長袖シャツ(腕がまくれるもの)			
	長袖のときのインナー			
	ズボン			
	靴下			
	ウインドブレーカー			
	レインコート			
	パジャマになるようなもの			
	下着			
	水浴びするときのスカート・布			
	フェイスタオル			
	帽子			
	その他			
	調査用具	リュックサック		
		ウェストポーチ		
トーチ				
鍵				
ノート				
テープ				
地図				
GPS				
ペン、鉛筆				
電卓				
時計				
デジカメとそのメモリー				
デジカメの電池				
レコーダー				
ビデオ				
方位磁針				
温度計(湿度計つき)				
フリーザーパック(小・中)				
ビニール袋				
水筒				
その他				

衛生面	日焼け止め		
	サングラス		
	シャンプー・石鹸		
	歯磨き粉		
	歯ブラシ		
	ブラシ		
	ハンガー		
	洗濯バサミ		
	洗濯ものを干すロープ		
	洗濯ものを入れる袋		
	虫よけ		
	スリッパ		
	蚊取り線香を立てる受け皿		
	ソーイング セット		
薬	虫さされの薬		
	傷薬		
	傷薬(抗生物質入り)		
	風邪薬		
	胃腸薬		
	内服薬(抗生物質入り)		
	ガーゼ		
	包帯		
	消毒薬		
	カットパン		
	湿布		
体温計			
その他、必要に応じて			
その他	スーツケース		
	財布		
	パスポート		
	緊急時個人情報カード		
	Emergency ID Card		

リスク対策

フィールドワークリスク対策 該当箇所に○印、記入して下さい 記入日:

1. 現地での移動手段 航空 鉄道 バス 定期船
 1) 公共交通以外の交通手段の利用(車両借り上げ(運転手付)、ボート、ヘリコプターなど) 有 / 無
 <種類、区間(場所)、頻度記入>

2) レンタカー等出張者が運転行う車両利用
 <運転者、区間、頻度記入>

2. 想定されるリスクと対策
 病気・けが

犯罪

危険な野外生物等

特殊調査機材の使用(ザイル作業・潜水等):
 (場所、内容等具体的に記入して下さい)

3. 海外調査用
 1) ビザ: 不要(日間) 取得済(日間) 現地取得(日間) 調査・観光・その他()
 2) 調査許可: 不要 入手済() 手配済() なし
 3) 関係大使館: 住所: 電話番号:
 4) 現地外務省情報チェック: 済 / 未
 外務省による渡航情報(危険情報) <http://www.anzen.mofa.go.jp/> 参照
 有(下記のいずれかに○を付けること)
 (1) 十分注意して下さい。
 (2) 渡航の是非を検討して下さい。
 (3) 渡航の延期をお勧めします。
 (4) 退避を勧告します。渡航は延期して下さい。

5) 外務省による渡航情報(感染症関連情報) 有 / 無
 <有の場合、リスクと対策> <http://www.forth.go.jp/> 参照

6) 必要とされる、あるいは望まれる予防接種等(接種済みのものに○印を付ける、あるいは記入すること)
 入国に際し必要な国があるもの: 黄熱病、コレラ、ペスト、その他()
 望ましいもの: 破傷風、狂犬病、A型肝炎、肺チフス、脳膜炎、その他()

7) 現地病院: 名称: 住所: 電話番号:

8) 必要とされる許可の種類 入域・調査・試料等採取・試料輸出・撮影 その他()
 サンプル等の持ち出し 有 / 無
 現地共同研究機関等との協定書等 有 / 無 / 不要 締結先: 締結者:
 現地共同研究機関等との事前協議 有 / 無
 現地共同研究機関等の同行者 有 / 無 氏名:
 渡航先への持ち込み制限品、注意すべき携行品:
地図 GPS パソコン 無線機等
調査機材:
その他:

緊急時個人情報カード

部外秘 調査研究安心安全緊急連絡書 記入日:

1. 本人に関する事項
 氏名: _____
 所属: _____ 学年: _____
 自宅住所: _____
 電話番号: _____ ファックス: _____
 携帯電話番号: _____
 メールアドレス: _____
 生年月日: _____ 血液型: _____
 バスポート番号: _____ 有効期限: _____
 既往症: _____
 日常服用薬: _____
 特記事項: _____

旅行保険: 会社: _____
 番号: _____
 連絡先: _____

クレジットカード 会社: _____
 番号: _____
 連絡先: _____

2. 緊急時連絡先
 氏名: _____ 関係: _____
 住所: _____
 電話番号: _____ ファックス: _____
 携帯電話番号: _____
 メールアドレス: _____
 * 複数ある場合は下記に追加(優先順位による)

3. 教員(指導教員、専攻主任、研究代表者)
 指導教員氏名: _____ 所属: _____
 連絡先(確実に連絡のとれるところ)
 住所: _____
 電話番号: _____ ファックス: _____
 携帯電話番号: _____
 メールアドレス: _____
 専攻主任氏名: _____ 所属: _____
 連絡先(確実に連絡のとれるところ)
 住所: _____
 電話番号: _____ ファックス: _____
 携帯電話番号: _____
 メールアドレス: _____
 研究代表者氏名 _____ 所属: _____
 連絡先(確実に連絡のとれるところ)
 住所: _____
 電話番号: _____ ファックス: _____
 携帯電話番号: _____
 メールアドレス: _____

事故報告書

部外秘	フィールドワーク事故等報告書	記入日:
氏名:	_____	所属: _____
事故等の内容(日時・場所・状況・対処などできるだけ詳しく記入して下さい。複数の場合はそれぞれ記して下さい)		
日時		
場所		
内容	病気 怪我 交通事故 紛失 盗難 犯罪() 天災()	
) その他()	
状況		
対処		
備考		

Emergency ID Card (海外渡航時に持参)

Emergency ID Card	
Name:	_____ Nationality: _____
Birth date:	_____ Blood Type: _____ Gender: _____
Home address:	_____
Tel Number:	_____ Fax Number: _____
E-mail:	_____
Profession:	_____
Address:	_____
Tel Number:	_____ Fax Number: _____
Passport Number:	_____ Expire Date: _____
Anamnesis:	_____
Insurance:	_____ Number: _____
	Tel Number: _____
Contact person in emergency	
Name:	_____ Relation: _____
Address:	_____
Tel Number:	_____ Fax Number: _____

